

事業所における自己評価集計結果（公表） — 放課後等デイサービス — （令和4年度）

公表：令和5年3月30日

事業所名 社会福祉法人 高邦福祉会 柳川療育センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			利用者の利用目的に合わせてベッド、休憩できるスペースを確保し、天気に応じ季節を感じてもらうために外遊びを行っている	
	②	職員の配置数は適切であるか	4				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			寝返り、いざり移動、四つ這い、ローリングなど多様な動きにも応じられるように物品の位置を構造化するなどの工夫を行っている	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			週に1回多職種でのケアカンファレンスを行っている。コマディカルとの連携を図り支援内容を確認する	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者からの意見を聞き取りし、業務改善を行い個人マニュアルを作成している。	
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			院内研修に参加している。外部研修は感染予防のため院内研修の機会を確保する。VOD研修を行っている	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			3か月ごとの評価を行い、カンファレンスで意見交換を行う。保護者への説明を6か月ごとに行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			MEPA評価をアセスメントシートに活用する。利用者、保護者のニーズを把握する努力を行っている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			季節に応じた楽しい活動の工夫を計画している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			ご家族の要望を聞き取り、支援計画立案をしている。具体的な支援拡充のためガイドラインを参照する。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			個人の状況に応じて最適な活動の提案を努力している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			季節に応じた楽しい活動の工夫を計画している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			利用者の状況に合わせて支援内容の見直し、役割分担している	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	4			気づいたこと、緊急会議が必要な場合には当日解決を目標にしている。引継ぎができるように連絡帳の活用をしている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			小さな変化に気づけるように記録している。電子カルテを活用すること、朝「引継ぎありますか」などの声掛けを忘れない。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4				
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	㉓	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			感染拡大防止のため地域との連携ができなかった。	
	㉔	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			4	支援対象者がいなかった。適宜相談員を通して行う	
	㉕	医療的ケア必要な子どもを受け入れる場合は、子ども主治医等と連絡体制を整えているか	4			診察医より診療情報提供書および指示に従い連絡体制を整えている	
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4		センター利用者は継続利用が多いので情報は保護者から可能。必要であれば相談員が介入する。	
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4	感染拡大防止のため地域との連携ができなかった。	
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			担当者会議を通して情報共有していた。相談がある場合は地方公共団体への相談を行った。	
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	感染拡大防止のため地域との連携ができなかった。	
	㉚	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		4		相談員、施設長の参加	
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			保護者とは連絡帳でのやり取りを行っている。	
保護者への 説明責任等	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			文書と口頭による説明を行い、同意をいただいている。カンファレンスでの評価を行っている。	
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4				
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			保護者懇談会を1回/年で行っていた。感染拡大防止により行っていない	
	㉟	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情あった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			受け持ち看護師が主体となり、職員での共通認識として引継ぎなどにより対応するように調整している	
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			「せんたーだより」を広報部より3か月ごとに発行し手渡している。	
	㊲	個人情報に十分注意しているか	4				
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	感染拡大防止により行っていない	
非常時等の 対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			各種マニュアルを策定し保護者も周知している。	
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			職員研修を通して机上訓練を行っている。	
	㊷	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			職員研修を通して不適切ケアについて注意できる風土作りが必要	
	㊸	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			身体拘束に関する同意書をもとに文書、口頭での説明を行い同意を得る。定期的にカンファレンスを行い身体拘束に関する評価を行っている。	
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			家族に確認し、必要に応じて診察医の指示書により対応する。	
	㊺	ヒアリング事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			インシデント内容は速やかに情報共有する。具体的な対策を協議することを努力している。	